

石井潤 追悼公演

『マニフィカト』

『カルミナ・ブラーナ』

振付:石井潤

音楽:J.S.バッハ／カール・オルフ

振付指導:寺田みさこ／中村美佳

ミストレス:石井千春／植木明日香



Magnificat
Carmina Burana

2018年2月

10日〔土〕 18:30開演

11日〔日〕 14:00開演

京都府立府民ホール アルティ

石井潤 追悼公演

『マニフィカト』

『カルミナ・ブラーナ』

振付:石井潤

音楽:J.S.バッハ/カール・オルフ

振付指導:寺田みさこ/中村美佳

ミストレス:石井千春/植木明日香

2018年2月

10日[土] 18:30開演

11日[日] 14:00開演

※開場は開演の30分間

石井潤(1948-2015)は、日本屈指の振付家として、数多くの優れた作品を世に遺しました。今回はそれらの中から代表作である2作品を上演します。「マニフィカト」は1987年、京都にて初演を迎え、その後日本各地で再演を繰り返してきました。そして「カルミナ・ブラーナ」の初演は2003年。今回の会場でもある京都府立府民ホール“アルティ”にて「マニフィカト」と共に上演されました。これらの作品を通して見えてくることは、石井自身がクラシックバレエの型がもたらす優雅さをいかに愛していたかということ、そして人間の泥臭い生き様を、ダンスを通して肯定しようとする情熱です。今回、これらの作品に新たな息吹をもたらすダンサーを求め、女性ダンサーは全てオーディションにより選抜しました。彼女/彼らが自らのやり方でこの作品の新たな魅力を引き出すことで、石井潤の人間賛歌を次代へ引き継いでいきたいと考えています。

[料金(全席自由)]

前売:4,500円

当日:5,000円

※未就学児童の入場不可

[チケット取扱い/お問合せ]

rsv.ijmemorial2018@gmail.com

Tel. 075 285 2485(担当:ホンゴウ)

※チケットお申込みの際は、

「お名前(フリガナ)、日時、枚数、電話番号、Emailアドレス」をご記入の上、上記アドレスまでご送信ください。

公演当日、前売料金にて受付精算の際に

チケットをお引き取りいただきます。

[スタッフ]

舞台監督:夏目雅也

照明:松浦真也

音響:金子進一

制作:本郷麻衣

表写真:アス大阪 デザイン:外山央

Carmina Burana

[出演]

〈ゲストダンサー〉

石神航一
稲毛大輔
佐々木大
林高弘
松田大輝
山口章
山本隆之
幸村恢麟
吉田旭

〈ダンサー〉

井澤照子
石井絢子
石川真理子
今本和佳
大塚春菜
奥田明香
小澤早紀
片岡こなみ
片山真瑛

株田佳香
川畑麻弓
河本実希
合田莉子
小山はるか
佐々木理沙
佐竹美咲
篠崎留美
清水あすか

須崎美紗
中川真理子
中西孝子
中西智愛
中村友美
夏目美和子
西村紗弥
丸野祐里
森田美穂

安渡真央
山崎恵梨子
山本あずさ
山本悦子
吉田千智
吉留彩葉
(50音順)

主催:石井アカデミー・ド・バレエ

後援:石井アカデミー・ド・バレエ後援会



京都府立府民ホール アルティ

〒602-0912

京都府京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1

Tel. 075 441 1414

※地下鉄烏丸線「今出川駅」下車、6番出口より南へ徒歩5分



石井潤 ISHII Jun (1948-2015)

1966年にチャイコフスキー記念東京バレエ団に入団。69年第1回モスクワ国際バレエコンクールで第3位、銅賞を受賞し、その後ヨーロッパ各地のバレエ団で活躍。83年に帰国後は、国内のバレエ団に客演。またこの時期より新作バレエの創作を始め、各地で上演する。日本バレエ協会委嘱作品「泥棒詩人ヴィオン」(88年)、京都国際音楽祭バレエの夕べにて「血の婚礼」(91年)「インタープレイ」(94年)、東京フェスティバルバレエのアメリカ公演にて「ノリ」(95年)。1997年より2004年まで新国立劇場のバレエマスターを勤め、1998年には新国立劇場開館記念公演創作委嘱作品「梵鐘の聲」を発表。その他「マニフィカト」「道」「カルメン」「シャンソネット・テデスカ」「カルミナ・ブラーナ」など多数。晩年まで意欲的に創作活動に取り組み、日本のバレエ界に貢献した。芸術選奨文部大臣新人賞、第19回橘秋子賞特別賞、第20回・25回舞踊批評家協会賞、音楽新聞邦人ベスト3、東京新聞舞踊芸術賞、京都市芸術文化協会賞、京都市芸術振興賞などを受賞。